

平成 29 年 5 月 26 日

松山河川国道事務所工務第二課

愛媛大学新入生が橋梁工事を見学！

～未来の技術者が土木工事の魅力を感じ～

本見学会を通じ、土木工事の魅力や公共事業が担う役割について考える機会を提供し、未来を担う若手技術者の育成支援につなげたいと考えています。

国土交通省松山河川国道事務所と愛媛大学工学部は、えひめ国体までに側道部の開通を目標に整備を進めている松山外環状道路空港線まつやまそとかんじょうどうろくうこうせんの橋梁工事現場において、愛媛大学工学部環境建設工学科の1回生を対象とした現場見学会を開催します。

【概要】

場 所：松山河川国道事務所 松山外環状道路空港線の工事現場（別紙1参照）
日 時：平成 29 年 5 月 30 日（火）及び 6 月 6 日（火）
13：30～16：00（予定）
行 程：別紙2参照
対 象 者：愛媛大学1回生 約 100 人（2日間で各 50 人ずつ）
見学内容：橋梁等の施工状況

【ポイント】

工事中でなければ見る事の出来ない以下の状況が確認出来ます。

- ① 橋梁舗装工の見学
- ② 橋梁下部工（杭基礎）の見学
- ③ 測量体験

【参 考】

松山外環状道路の概要（別紙3参照）

※ 本施策は、四国圏広域地方計画の広域プロジェクト【No.5 地域の自立的・持続的発展に向けた「資 国」産業競争力強化プロジェクト】の取組みに関連します。

問い合わせ先

国土交通省 四国地方整備局 松山河川国道事務所
◎ 工事品質管理官：武田 融昌（たけだ みちまさ）（内線：302）
工務第二課長：新池 保徳（しんいけ やすのり）（内線：411）
代表 089-972-0034 直通 089-972-0614
愛媛大学 環境建設工学科
教授：岡村 未対（おかむら みつ）
直通 089-927-9820

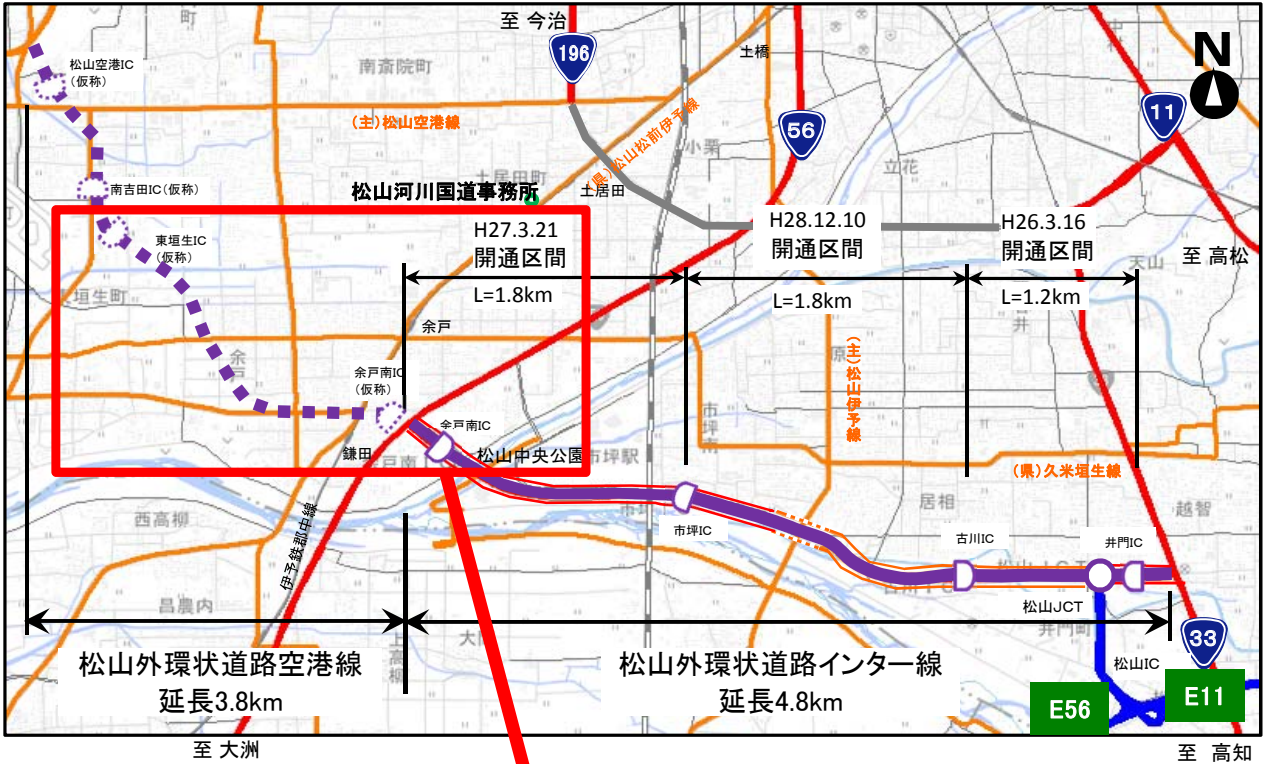
◎：主な問い合わせ先

【記者の皆様へ】

取材を希望される方は、事前に上記の問い合わせ先まで連絡をお願いいたします。

天候によっては行程が変更となる場合があります。また、大雨等により松山河川国道事務所が防災体制に入る場合は中止します。

【位置図】



一般財団法人日本デジタル道路地図協会のデータベースを使用
この地図の作成に当たっては国土地理院長の承諾を得て、同院発行の数値地図
50mメッシュ及び基盤地図情報を使用した。(承認番号平26情使、第52号)

上図、口囲み部分拡大図



※現場見学内に報道関係者用の駐車場を設けております
ので入口の交通誘導員の指示に従い入場してください。

【行程】

平成29年5月30日（火）、6月6日（火）

予定時刻	行程
13:30 ~ 14:15	松山河川国道事務所（2階会議室）にて概要説明
14:15 ~ 14:30	バス移動
14:30 ~ 16:00	現場見学（松山外環状道路空港線）

※当日の天候等の状況により、行程が変更となる場合があります。
 ※学生の移動手段は、バスを予定しています。

【5月中旬の状況写真】



松山外環空港線(松山IC方面)



松山外環空港線(空港方面)

【昨年の状況写真】



事務所内における概要説明



松山外環インター線 現場見学

松山外環状道路の概要

事業の目的

松山外環状道路とは、現在の松山環状線のさらに外側に計画された環状道路のことで、松山IC、松山空港、松山港等の広域交通拠点や地域開発拠点とのアクセス性向上、市内中心部へ流入する交通を分散し、市内の交通渋滞解消を目的とした地域高規格道路（※1）です。

松山外環状道路の内、国道33号から国道56号間の4.8kmは、国道33号松山外環状道路インター線、国道56号から主要地方道松山空港線間の3.8kmは、国道56号松山外環状道路空港線として、国土交通省、愛媛県、松山市が協同で整備をしています。

松山外環状道路が開通されると郊外からは市街地を通過せずに目的地への移動が可能になるため、市街地に用事のない交通の市内流入が減少し、市内の渋滞の解消・緩和が期待されます。

なお、えひめ国体までに国道56号～東垣生IC（仮称）間の側道部の開通を予定しております。

※1 地域高規格道路とは、空港・港湾等の広域的交流拠点や地域開発拠点を連結すると共に、都市と周辺地域との連携強化による地域集積圏の拡大、地域集積圏間の交流促進を目的とした道路です。

